

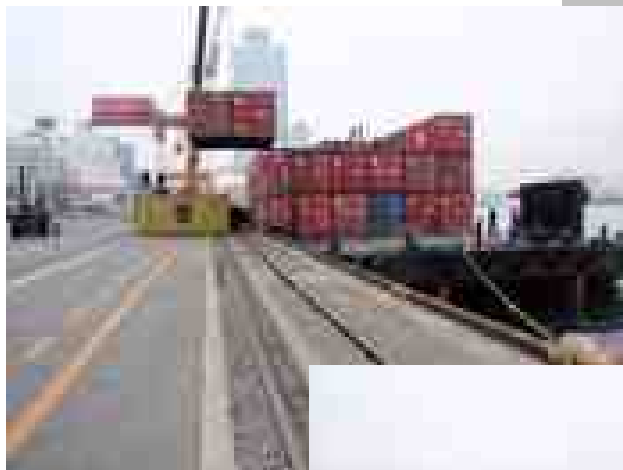
# モーダルシフトの効果例（大阪港から神戸港へのバージによるコンテナ輸送）

## 〈概要〉

大阪港から神戸港間で陸上輸送されている空コンテナについて、バージによる大ロードで低コストな海上輸送サービスを確立し、環境負荷の小さな海上輸送への転換を図る。

### 【事業実施後】

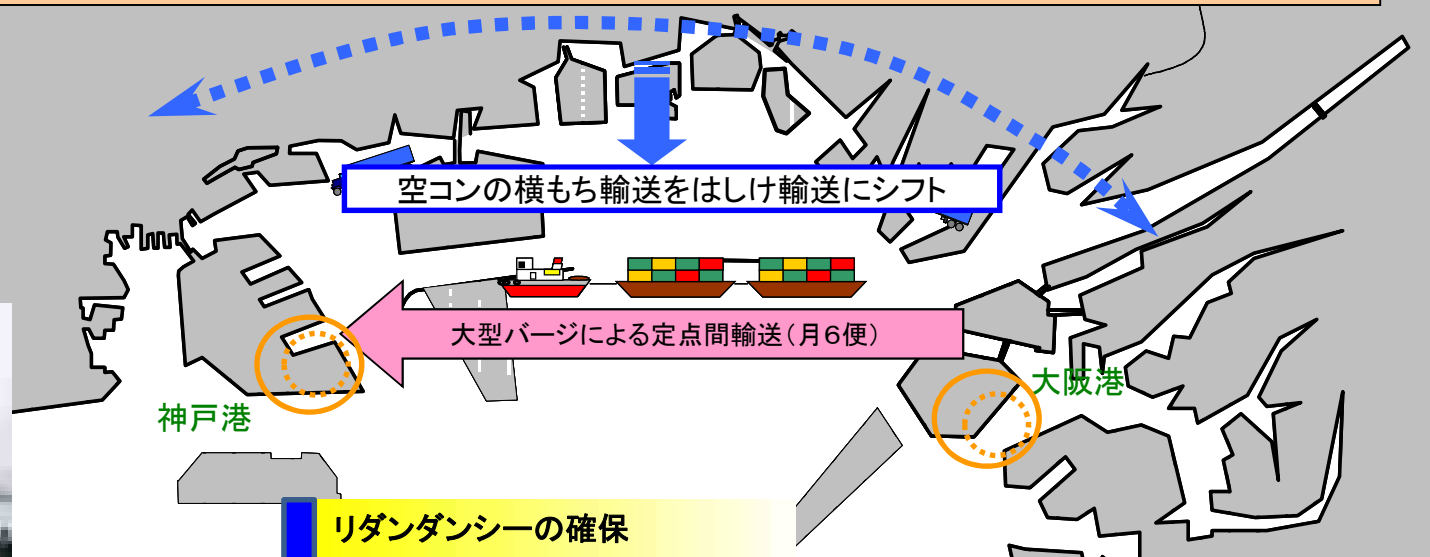
大阪港南港と神戸港ポートアイランドを結ぶ海上輸送航路を構築し、海上輸送を実施



平成22年1月12日  
運航開始のようす



現状：神戸港（輸出が多い）⇔大阪港（輸入が多い）による空コンテナの横もち輸送の発生



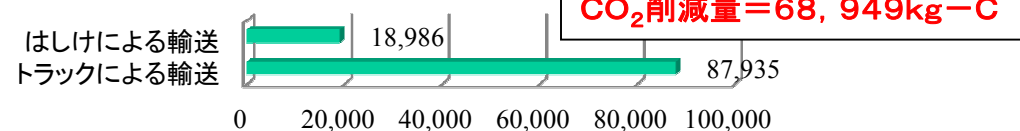
### リダンダンシーの確保

震災などで、道路や橋が機能不全に陥った場合の輸送の代替手段をあらかじめ確保する等への対応の一環としての役割

### 平成22年度モデル事業における環境面の効果(CO<sub>2</sub>削減効果)

- モデル事業によるCO<sub>2</sub>排出量 = 18,986kg-C
- 5,982個すべてを陸上輸送した場合のCO<sub>2</sub>排出量 = 87,935kg-C  
∴ 平成22年度モデル事業におけるCO<sub>2</sub>削減量 = 68,949kg-C

<CO<sub>2</sub>排出量原単位(国土交通省)を用いて算出>



メリット